

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2024年4月フォーラム(第366回)

- **開催日時**：2024年4月11日(木) 18時00分～19時00分
※終了後19時00分～20時00分に懇親会を実施します。
- **開催形式**：千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームAにて会場参加と講演収録。後日約1カ月録画配信
- **配信対象**：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信
- **講師**：栗原 新 先生
近畿大学 生物理工学部 食品安全工学科 准教授
- **テーマ**：「食品と腸内細菌叢の相互作用」
- **講演要旨**：

ヒトはその腸内に自らの細胞数とほぼ同数の腸内細菌を保持しており、その重量は約1kgにも及びます。各個人の保持する腸内細菌の混合物を腸内細菌叢と呼びます。この腸内細菌叢の組成は非常に多様であり、ヒト腸内細菌叢から抽出したDNA配列の個体差は、ヒト本体のDNA配列の個体差を大きく上回ります。近年、腸内細菌叢の個体差により、糖尿病・自閉症・うつ病・感染症といった疾病の状態や、肥満状態・運動能力・行動様式が決定されていることが報告されてきており、動物はDNAの乗り物であると同時に腸内細菌の乗り物であるとも言えます。腸内細菌叢にはビフィズス菌などの善玉細菌、ウェルシュ菌などの悪玉細菌が含まれますが、その大半を占めるのは日和見細菌と呼ばれる機能未知の細菌です。また、腸内細菌そのものはヒトのバリア機構に阻まれヒト組織内にはほとんど侵入できませんが、腸内細菌が食品成分等を原料に生合成し、放出する代謝産物は大腸上皮を通じてヒト組織内に取り込まれ、ヒトの健康状態に直接的に影響を与えられていると考えられています。

この講演では、腸内細菌についての最新研究を紹介するとともに、腸内細菌叢の組成およびその代謝産物の組成を食品により制御し、ヒト健康を増進することを目的とした私たちの研究を紹介いたします。

● **講師プロフィール**：

学歴：京都大学農学部生物機能科学科卒、京都大学大学院生命科学研究科修了(生命科学博士)

職歴：(独)理化学研究所バイオリソースセンター 日本学術振興会特別研究員(PD)、京都大学大学院生命科学研究科 特定助教、エモリー大学医学部 日本学術振興会海外特別研究員、テキサス大学ダラス校サウスウェスタンメディカルセンター 上級訪問研究員、石川県立大学生物資源環境学部 寄附講座准教授、近畿大学生物理工学 専任講師等を経て現在に至る

専門分野：応用微生物学

主なる著書：『微生物資源の整備と利活用の戦略』(分担執筆、株式会社エヌ・ティー・エス)、『醸造の事典』(分担執筆、朝倉書店)、『Polyamines』(分担執筆、Springer)

主なる講演テーマ：ヒト健康と腸内細菌・発酵食品・ポリアミンの関わりについて

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/無料

録画配信希望のお申込はご不要です。

会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信

録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp (HP：<https://www.senri-life.or.jp/>)